

健康講演会



平成31年3月13日(水) 保土ヶ谷防災センターで行われた健康講演会で、『脳卒中の基礎知識と健康的に過ごすための予防法』と題し、谷井雅人院長が講演をしました。院長のユーモアを交えた内容に、参加者は笑いながらも真剣に耳を傾けていました。急性期治療だけでなくリハビリの重要性を考えさせられる講演会となりました。予定時間を大幅に過ぎるほどの大盛況となり、会終了後も多くの参加者から「こんなに楽しい講演会は初めてだった」と声をかけてもらえました。今後も様々な活動に積極的に参加して地域のニーズを把握し、皆さまから信頼される病院を目指していききたいと思います。機会がありましたら、是非ご参加ください。

4F病棟紹介



4階病棟は急性期一般病棟で全58床からなります。24時間365日、外来や救急外来から脳卒中などの患者さまを受け入れております。急な症状の変化により、患者さま、ご家族ともに動揺してしまうことも多いと思いますが、常に寄り添い、「こころあたたかい看護」の提供をしています。
また、レスパイトやリハビリテーション短期入院も受け入れ、地域密着型の病院を目指しております。日々入れ替わりの多い病棟ですが、短期間でも患者さま、ご家族と信頼関係を築けるよう努めてまいりますので、いつでもお声掛けください。

編集後記

2019年度がスタートし、元号も令和となりました。
気持ちも新たに、皆様にとって素晴らしい時代となりますように。
当院も新入職員のメンバーを迎え、より一層、患者さまのことを第一に考え、安心と安全が提供できる病院づくりに精進して参ります。
今年度も、広報誌「あじさい」をよろしくお願ひ致します。

総務課 菊池めぐみ



日本脳神経外科学会認定専門医療施設 日本神経学会認定専門医療施設 日本脳ドック学会認定施設
医療法人社団 IMS 横浜狩場脳神経外科病院
明芳会
IMS YOKOHAMA KARIBA HOSPITAL OF NEUROSURGERY
〒240-0025 横浜市保土ヶ谷区狩場町218番地9号
TEL 045-721-3131 / FAX 045-721-3113

あじさい Ortensia vol.14

イムス横浜狩場脳神経外科病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

『あじさい～Ortensia(イタリア語)～』の由来は病院脇に咲いていて、花言葉に【辛抱強い愛情】【家族の結びつき】とあります。花言葉の通り、職員一丸となって深い愛情をもって接していきます。



院長挨拶 ~第14号によせて

「あじさい～Ortensia～」第14刊が発行される頃は、既に令和元年を迎えており、そして一年後に迫った東京オリンピック2020へのカウントダウンが始まっていることと思います。
皆さんはどのオリンピックが印象に残っていますか？
私が今でも鮮明に覚えているのは、昭和ではロサンゼルスオリンピックでの柔道・山下泰裕涙の金メダル、平成ではシドニーオリンピックでの女子マラソン・高橋尚子笑顔の金メダルです。
さて令和最初の東京オリンピックでは、どのような名勝負が生まれるか、今から楽しみですが、此処横浜でもいくつかの競技が行われますので、何とか入場券を手に入れて観戦に行きたいと思いつつ、現実には仕事の合間にテレビで応援するのが精一杯でしょうね。



院長 谷井 雅人



平成31年度 入職式
イムス横浜持病脳神経外科病院

平成31年4月1日（月）に入職式が行われました。今年度は、看護部16名・リハビリテーション科14名・管理栄養士1名・診療放射線技師1名・社会福祉士2名・医療事務2名の、総勢36名の新入職員を迎えることができました。式の中では谷井院長や櫻井看護部長からの励ましの言葉をいただき、緊張の面持ちで出席していましたが、入職後の自己紹介では、出身地や趣味・好きな物の話などで大いに盛り上がりました。新しい元号ともなる新たな時代の新入職員たちのこれからの大活躍を期待しています。



通所リハ教室紹介



通所リハビリでは、リハビリの一環として「おでかけ教室」を月に1回開催しています。参加者の皆様には、教室を通して外出や体を動かすことを楽しいと感じて頂いています。出来なかったと思っていたことが出来るようになり、日常生活でもひとりで散歩に行ける様になった方もいるようです。今後はバスに乗ってお花見など活動・参加範囲を広げていき、更に利用者様のQOLが向上するように開催していきたいと思ひます。



平成30年度
看護研究発表会



- 会次第
1. 開会のあいさつ
副看護部長 栗田正徳
 2. 「情報共有掲示板の改善
～転倒転落インシデントの減少を目指して～」
5 齋藤 穂 〇白石和夫 藤下 幸雄 谷口 富美 白石 勇
 3. 「退院支援の充実に向けた取り組み
～退院支援ファイルを活用して～」
6 齋藤 穂 〇佐藤 裕 柳川 夕季 藤石 真由 小澤 千恵
 4. 「手術安全管理～TIME OUT チェックリストをいいて～」
手嶋 悠 〇藤原 博 坂倉 美穂 川村 純 山崎 大輔
 5. 「脳卒中急性期の患者に対する改訂水飲みテストを用いた
嚥下評価～早期嚥下評価を取り入れた患者との関わり～」
4 齋藤 穂 〇菅原 真央 栗山 聖 高橋 くらら 宮地 知之
 6. 質疑応答
 7. 「懇話会を通して得られた実習指導者としての役割と課題」
4 期 伊藤 美香
 8. 閉会

平成31年2月25日（月）に看護研究発表会が開催されました。看護師が日々看護をしながら思い悩んだり、改善したいと感じている事柄を研究テーマとして、毎年取り組んでいます。どの演台も脳血管疾患病院ならではの研究テーマとなっており、患者さまの状態に合わせた専門的知識や技術の看護について知ることのできる機会ともなりました。



第7回 促通反復療法（川平法）実技研修会開催

平成31年3月9日（日）に川平和美先生（鹿児島大学名誉教授）をお招きし、促通反復の実技研修を行いました。他グループ病院の職員も参加し、講義・実技共に約40名の参加となりました。さらに、今年度は実際に患者様を治療して頂き、今まで以上に充実した講習となりました。本日学んだ内容を今後の臨床に活かし、より質の高いリハビリテーションを患者様に提供できるよう、スタッフ一同精進していきます。

